

G空間社会における山岳遭難防止対策モデル構築事業

長野県山岳G空間プロジェクト協議会 【株式会社豆蔵、長野県、長野県警察本部、松本市、大町市、安曇野市、白馬村、小谷村】

■ 事業の目的、目標、着眼点

長野県の山岳遭難事故は毎年増加を続け、平成25年には、死者・行方不明者合わせて74人にのぼっており、交通事故死者数の100人と比較しても、大変憂慮すべき状況にあるため、G空間情報等の利活用による位置情報や危険情報の提供等により、多様化する登山者の遭難事故防止を図る。

■ 具体的な取組内容



■ 事業終了以降の展望・取組内容

- ・他の地域においても展開可能な山岳遭難防止対策モデルの構築
- ・2020年の東京オリンピックを視野に外国人に対し、安心・安全な登山を可能とすることで山岳観光の集客力を向上
- ・準天頂衛星を活用したサービスを拡充することで、山岳高原を有する海外へのサービス展開

※山岳G空間データベースは、将来的にG空間プラットフォームに構築することを想定しています